

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切に生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高め、信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

2 今年度重点事業目標

(1) 重度者ケアの充実

- ア 利用者個々の状態に合わせた福祉機器・用具の活用を継続し、安心・安全な生活の確保に努める。
- イ 長谷川式簡易評価を継続実施して認知機能の状態把握を行う。また利用者個々の状況により、ひもときシート等の分析ツールも活用して心理症状等の把握に努め、適切な介護を提供する。
- ウ 多職種間での情報共有を徹底して褥瘡発生や嚥下機能低下の予防に努める。また嘱託医師と密に連携して、経管栄養及びたん吸引等の医療サービスを適切に提供するとともに、必要に応じて迅速に医療サービスへ繋げる。
- エ 本人、家族に寄り添い、穏やかな最期を迎えられるように多職種で連携してターミナルケアを提供する。またターミナルケア研修を開催し、資質向上及び職員の心的負担軽減を図る。

(2) 個別ケアの充実

- ア パーソンセンタードケア（その人を中心としたケア）の理念に則り、個別ニーズの把握及び介護手法の統一化を図って、一人ひとりを尊重した介護を実施する。
- イ 従前の生活リズムの継続を目的に24時間シートを作成し、安心感のある生活の提供に努める。また多職種が連携してアセスメントを定期的実施して、利用者個々の心身状況に合わせた介護を提供する。
- ウ 福祉施設職員としての職業倫理観を養う研修を取り入れ、個人の尊厳を尊重する組織風土の醸成を図る。

(3) 安定した施設経営

- ア 高稼働率の維持に努める。
 - (ア) 入所年間平均95%以上、短期入所50%以上を確保する。
 - (イ) 欠員期間短縮に努める（10日以内の欠員補充を継続）。
- イ 感染症の流行状況を見極めながら、状況に応じた対策の充実と感染症研修等による職員の意識啓発を行い感染予防に取り組む。
- ウ 介護ロボットやICT（情報通信技術）等の導入及び活用方法を検討し、働きやすい職場環境の構築に努める。